

2006.6.27渡辺先生活動新聞記事

記念誌でもちょっと触れましたが、格闘競技での顎、口腔の外傷の防止、軽減のためスポーツマウスガードの普及のため、岡山県スポーツマウスガード協力医ネットワークを立ち上げ、活動を開始しました。この取り組みが山陽新聞にとりあげられましたので、記事を添付します。日本ラグビー協会も昨年菅平での高校生死亡にやっとなかなか重い腰をあげ、今年4月から高校生のマウスガード装着を義務付けました。怪我のない楽しいスポーツの推進に一役買えればと思っています。熊惑の皆さんも怪我には気をつけて楽しんで下さい。

スポーツで歯やあごを守る

正しいマウスガードを

県内歯科医が
ネットワーク 注文製作、安価に

ラグビー、ボクシングなど選手同士が激突するスポーツで、歯やあごを守る正しいマウスガードを青少年に普及させようと、県内の歯科医有志が今月、ネットワークを立ち上げ、オーダーメイドにより選手に合ったものを安く提供する活動に乗り出した。

マウスガードは、口の中に装着する防護用品。ラグビーと呼び掛け、岡山、倉敷、総社、真庭市など

主にはスポーツ用品店などで既製品が販売されているが、口の形状にきちんと合っていないために、けがの原因になるケースが少なくないという。設立されたのは「県スポーツマウスガード協力医ネットワーク」。自らラグビー選手の渡辺治さん（58）倉敷市玉島中央町IIが呼び掛け、岡山、倉敷、総社、真庭市など

同ネットワークでは、安全性が十分確保できるようマウスガードの品質をそろえ、オーダーメイドの製作方法も統一。高校生以下を対象に実費（三千五百円）で注文を受け付けており、装着指導もしている。

今後、内部で勉強会を重ねるとともに、新たに参加する歯科医を募って講習会を開き、修了者を登録する。渡辺さんは「マウスガードは、歯やあごの外傷の予防・軽減に効果が高いことが実証されている。正しく

普及させたい」と話している。問い合わせは事務局の086-522-2234（古川）

渡辺歯科医院（086-522-2234）

（古川）

「青少年に、口にあったマウスガードを普及させたい」と話す渡辺さん



問い合わせは事務局の086-522-2234（古川）

渡辺歯科医院（086-522-2234）

（古川）